



中国

27 蘭州中川空港拡張事業

A
B
C
D

甘肅省の蘭州中川空港で、滑走路やターミナルビルを新たに建設し空港施設を拡張することにより、航空需要増への対応を図り、もって西北地域の経済活性化に寄与する。また、代替空港として西北地域の航行の安全性向上に寄与する。

承諾額/実行額	63億3,800万円/62億9,900万円
借款契約調印	1996年12月
借款契約条件	金利2.3%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイト
貸付完了	2002年6月
実施機関	甘肅空港会社



外部評価者 岸野 優子(アイ・シー・ネット(株))
現地調査 2004年10月

評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに滑走路の整備、旅客および貨物ターミナルビル等の建設、航空保安施設の新設等が行われた。設計段階における調整等に時間を要したことから期間は計画を上回り、事業費も政策変更に伴う物価上昇から計画を上回った。

貨物量は2000年に当初計画の1万トンに達し、その後も増加傾向にある。旅客数は、事業開始以降の航空需要の伸び率が鈍化したため、当初計画の130万人に対し、00年では67.9万人となっているが、07年には目標値の130万人に達し、その後もさらなる増加が見込まれている **解説**。また、蘭州中川空港においては、ICAO*基準に合致した滑走路等の整備によって離着陸の安全性が向上し、ウルムチ、西安に続く西北地域の大型機代替空港となったことにより西北地域の航行の安全性が確保されるほか、同地域の経済成長にも寄与している。

甘肅空港会社の技術面は問題ない。体制面では、度重なる組織改革に加え、同社が所有する各空港の子会社化の動きがある。財務面は、毎年赤字を計上しているもののサービス向上等、収益を上げるための方策を現在検討中である。

非航空系収入の拡大等空港運営の多角化による経営努力が引き続き求められる。

* 国際民間航空機関 (International Civil Aviation Organization)

第三者意見

資源に富む西部の玄関口である蘭州中川空港は、西部地域開発の観点からも重要な拠点である。本事業の妥当性は高いが、空港自体の持続性は空港会社の効率的運営と企業統治の確立にかかっている。

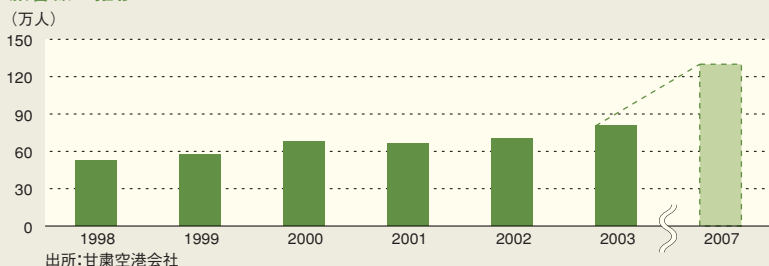
有識者 Mr. Zhang Zhi Gang (民間企業)

資源経済・貿易大学修士(経済学)。現在、三井造船北京事務所所長。専門は石油化学製品、プラント、造船。

解説 旅客数の推移

航空部門では旅客数は経済成長度合いに比例するといわれている。全世界における2000-04年の定期航空旅客数の年平均伸び率は6.3%(国際航空運送協会(IATA))、01-04年の経済成長率は3.6%(国際通貨基金(IMF))、弾性値は1.75である。この弾性値を甘肅省の経済成長率9%にあてはめると、旅客数伸び率は15.75%となり、07年には旅客数が約130万人(高松空港の旅客数は年間153万人)に達する計算になる。

旅客数の推移



ODA (円借款) 支援事業の広報



蘭州中川空港の安全検査カウンター付近には、本事業が「日本のODA(円借款)で支援された」とするプレートが掲げられている。